

北川支所管内より



### 瀧家の箱入り娘

ふくちゃん(10カ月)

飼い主：瀧 洋秀さん

昨年のクリスマスの日、瀧家へやってきたふくちゃん。「クリスマスプレゼントよりも嬉しかった！」と、洋秀さんの娘・希愛ちゃんと希咲ちゃんはふくちゃんをとっても可愛がっています。ふくちゃんは寝るときも家族と一緒に、毎朝「あーあー」とみんなを起こします。きっと「おはよう」の合図かな？

洋服を着ると落ち着くようで、この日はスリカ柄のファッション♪ すっかり、瀧家の箱入り娘です。

### 夏はたくさん川で泳いだよ！

(左) 山本 爽介くん (4)

(右) 詩織ちゃん(1)

祖父・克彦さんのナスのハウス前で仲良く遊ぶ2人。爽介くんは、よく納屋へ来て工具で遊んでいます。なんと、パソコンを分解したことがあるとか！？ 詩織ちゃんは「バイバイ」「マンマ」「ネネ」など、最近少しずつおしゃべりができるようになってきました。

今年の夏は、奈半利川や安田川でたくさん泳いだことが思い出です。爽介くんは、ゴーグルをつけて川魚も観察しました。

父・聖也さんと母・菜々子さんもナス農家。「2人のどちらかが、農家になってくれたら嬉しいな」と、菜々子さんは2人の将来を楽しみにしています。

奈半利支所管内より



安芸  
地区

## から こんいちには 今月の〇〇 気になる人

赤野出張所管内より



### 手作りのもんぺに囲まれて

小松 愛子さん(64)

手作りのもんぺがとってもお似合いの愛子さん。約25年前、お気に入りのパンツに出会い、そのパンツを元に自分のサイズでパターンを起し縫い始めました。毎年、夏と冬に1、2枚縫い、普段着として着た後に農作業着へと変わっていきます。全部合わせると35枚ぐらいあるんだとか！

女性部で安芸支部赤野地区の部長も務める愛子さん。赤野へお嫁に来た頃、周りに知り合いがいまありませんでしたが、園芸女性部の活動が楽しかったと振り返ります。今も月に2回みんなで集まり、ものづくりや料理、体操など、精力的に活動をしています。「みんなでワイワイと集まって、おしゃべりが楽しい」と、いつもの笑顔が光ります。

### 毎年、実がなり始めるとワクワク

西山 奈津子さん(65)

みんなから“なっちゃん”の愛称で呼ばれている奈津子さんは、田野町でオクラ5アールと水稲12アールを栽培しています。町内で約90人いるオクラ生産者の中でも数人しかいない、希少な女性経営者です。

奈津子さんは約30年前、土佐田野町農協マルタ園芸組合(現田野支所)時代から中芸集出荷場で働き、オクラやナスの袋詰め作業などをしていました。約5年前に退職しましたが、以前は朝早く圃場へ出てから出勤、昼休みにもまた圃場へ。アクティブに働きながら、2人の子どもたちを育てました。

「毎年6月、まっすぐで綺麗な実がなり始めると嬉しい」と笑顔の奈津子さん。経験年数は長くても、毎年作の始まりはワクワクするようです。

田野支所管内より



# できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

## 5 地区本部

### オリジナルのクラフトバック作り



清遠さん④に教わりながらバックを作る部員

女性部は8月17日、女性大学ときめき学園を開き、部員や地域住民21人が参加しました。部員の清遠みかさんが講師となり、クラフトバック作りに挑戦。部員は、好みの色のクラフトテープを選び、様々な編み方に苦戦しながら丁寧に仕上げていきました。部員は「難しかったけど、集中して作るのが楽しかった」と喜んでいました。野町節子部長は「部員同士が教え合いながら、交流が深められた」と話しました。

## 3 地区本部

### フェスタで夏の思い出いっぱい！



一般参加の親子や児童の家族も一緒に盛り上がりました

8月24日、安芸川の河原で「ちゃぐりんフェスタ」を開き、児童や家族ら45人が参加しました。フェスタでは、春に植えたトウモロコシやエダマメを使ったピザ作りに挑戦。段ボールにアルミホイルを貼り、ピザ窯も作りました。児童は「みんなで作ったピザはすごくおいしい！」と嬉しそうでした。スイカ割りや流しうめなど、みんな夢中になって盛り上がり、楽しい夏の思い出ができました。



4作目に向け定植する宮田さん④と有光専務

## 1 地区本部

### アグリード土佐あき4作目 地域の模範目指す

出資法人(株)アグリード土佐あきは8月25日、4年目のナス定植作業をしました。初年度から3作連続で20トン/10アールを上回る収量を確保。今作は定植時の栽植密度を高め、昨年度1割増となる年間74トンを目指します。担い手支援事業では、研修生の栽培技術の向上を支援するとともに、研修卒業後はJAサポートハウスでの就農を後押し。研修1期生で昨年JAサポートハウスに就農した有澤彰悟さんは「初めての1人での作業は大変だったが、専務のサポートもあり心強かった。昨年つまずいたところを、今年はクリアしたい」と、研修2期生で2作目を迎える宮田典保さんは「来年の就農に向けて今できることをしっかりやる」と気合を入れます。有光大専務は「昨年より作業効率上がるように研修生の指導に励む。新技術を積極的に取り入れ、地域の模範になりたい」と意気込みます。JAの安岡憲保常務は「地域のトプランナーとして、担い手の育成と産地の維持・発展を目指したい」と話しました。

## 6 吉良川支所

### 青壮年部が児童ともち米収穫



収穫した稲を運ぶ宇賀副部長④と児童

青壮年部吉良川支所は8月2日、室戸市立吉良川小学校5年生の児童10人と春に植えたもち米を収穫しました。吉良川公民館の主催で開き、今年で14年目を迎えます。水田を管理する佐藤行宣さんが、鎌を使った刈り方を説明。児童は青壮年部員らと一緒に手刈りしました。児童は「暑い中での刈りは大変」と農家の苦勞を実感していました。宇賀康雄副部長は「子どもたちに農業の楽しさに触れてもらうために、食農教育活動を続けたい」と話しました。

## 4 地区本部

### お遍路さんへジュース振る舞う



声を掛けあいながら遍路道を歩くJA職員と参加者

安芸地区は8月20日、(株)ピスタウィークス研究所主催の「令和の武者修行 土佐修行の道場 104キロ歩き遍路の旅」へ協力しました。参加したネットトヨタ南国の社員や中学生らに、あき支所前でユズジュースを振る舞いました。中学生は「美味しいジュースにパワーをもらった」と再び元気になり始めました。香南市「旅館かとり」まで一緒に歩いた企画組合員課の森光亜衣さんは「もてなしが子供たちの励みになって嬉しい」と交流を深めていました。



ユズの被覆作業を教える千光士さん④

## 2 あき北支所

### 農福連携 夏場の作業確保へ 課題解決一歩ずつ

安芸地区で、地域を挙げた農福連携の取り組みが加速しています。管内で働く障がい者等は、秋以降からのナスの栽培や出荷を中心に農家や集出荷場で作業しており、夏場の作業確保が課題でした。安芸市でかんきつを栽培する千光士尚史さんは、今年6月の農福連携サミットへの初参加を機に農福連携を真剣に考えるようになり、雇用に向けて、福祉機関らとほ場で雇用者に任せ作業を確認。8月には、障がい者3人がユズの袋掛け作業や青ユズの収穫を体験し、うち2人の雇用が決まりました。千光士さんは「かんきつ栽培もいろいろな作業があるので、本人の特性に合わせた作業を選びたい。他のユズ農家にも農福連携の取り組みを伝え、地域全体で支え合っていきたい」と意気込みます。営農企画課の市川和加さんは「障がい者等の雇用には、受け入れ農家の心理的なハードルを下げるのが重要。通年の作業確保につなげ、働きやすい環境づくりを目指したい」と話しました。

# えいのう



## 病害虫防除

# ナス

今月は病害初発の時期なので、もう一度、栽培管理をしっかり見直して「高品質・高収量」を目指しましょう。

### 【灌水・追肥】

摘芯までは成長（葉面積の増加）や着果（花）数の増加に合わせて、灌水量と追肥量を増やしましょう（ハウス野菜栽培管理こよみ資料14参照）。灌水ムラは根腐れによる病害の原因となるので、均一な灌水ができていますか確認・調整しましょう。1回の施肥量は10アル当たりチッソ成分で0.7キログラム程度です。

### 【整枝・誘引・光環境】

主枝の摘芯は畝上1.2m(9〜10節)前後の高さで行いましょう。主枝が徒長している場合は、一度つり糸を緩めて樹勢を落ち着かせてから摘芯しましょう。第1分枝下の葉は、第1主枝の生長点が8節目になった頃から、2〜3回に分けて摘葉します。本葉は黄化した葉や病害葉だけを除去します。赤果・青べた果の発生防止のため、天内張は開けると共に側枝は収穫時に必ず1芽切り戻しを行いましょう。また、各主枝が

ら出る下位1〜2段の側枝は、1果収穫後に元まで切り戻し、下部の繁茂による品質の劣化、病害虫の発生を防ぎます。

### 【病害虫防除】

農薬の使用基準を遵守して、病害虫の適期防除を行いましょう。



安芸営農経済センター 営農指導課 芸東ブロック 田中 瑞穂

### 促成なす主要病害防除体系

月	旬	使用農薬	対象病害				防除の基本的考え方
			灰	うどんこ	すす	黒枯 立枯	
10	上旬	★セイビアーフロアブル20	○				・フザリウム立枯病の対策として、栽培初期からセイビアーフロアブル20で予防に努める。 ・ <b>オオタバコ病にはヨリ水和剤またはトリフミン水和剤を散布する。</b> ・うどんこ病は、予防散布を行う。10月中旬以降に発生している場合は <b>プロバティフロアブル、シヨウチノステフロアブルまたはバンチョウTF顆粒水和剤</b> を散布する。 ・すすかび病は発生後の防除が難しい上、落葉による樹勢の低下で減収となるので、 <b>10月以降月2回程度</b> の予防散布を行う。 ・銅剤は各種病害の予防に、適宜使用する。
	中旬	★ベルコートフロアブル	○	○	○		
	下旬	☆ジーファイン水和剤		○			
11	上旬	★セイビアーフロアブル20	○				
	中旬	☆ファンタジスタ顆粒水和剤	○			○	
	下旬	★ダコニール1000	○	○	○		

## 摘果・病害虫防除

# カンキツ

温州みかんやユズでは収穫間近となりました。最後まで品質向上を目指し、最終の摘果や病害虫防除に努めましょう。

### 【仕上げ摘果】

収穫果実の外観や品質の向上を目的とします。樹冠上部は軸の太い果実を樹が暴れない程度に摘果します。小玉果と出荷に向かない果実を落とすべくと効率的に作業ができます。

### 【夏秋梢の管理】

ポンカンや土佐文旦などでは、かような病の病斑のついた夏秋梢は除去しましょう。夏秋梢処理の方法としては、①垂直に立ち上がった強い枝は樹形を乱すので基部から切る。②斜め上や水平の夏秋梢を予備枝として利用する場合は、輪状芽（春枝と夏枝の境）を残して切る。③弱い夏秋梢は輪状芽の下の春枝まで戻って切る。④樹冠拡大を目指す場合は、芽の充実したところで切り返します。

### 【礼肥の施用】

礼肥は今年の樹勢回復、冬期の耐寒性及び翌春の新梢の発生と開花結実を促進し、隔年結果は正へ

のカギとなるので必ず施用しましょう。ユズでは10月下旬〜11月上旬、ポンカンでは11月上旬〜11月中旬までに栽培基準と樹勢に応じて施用量を調整してください。

### 【病害虫防除】

黒点病、ミカンハダニ、カメムシ類については発生に注意し、早めに薬剤散布を行いましょう。



本所営農指導課 山影 学

### 防除例

適用病害虫	農薬名	使用倍数	収穫前日数	使用回数
黒点病	ナリアWDG	2000倍	14日前まで	3回以内
黒点病	ストロビドドライブフロアブル	2000倍	14日前まで	3回以内
ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	4000倍	前日まで	1回
カメムシ類アザミウマ類	テルスターフロアブル	3000~5000倍	前日まで	3回以内
カメムシ類チャノキアザミウマ	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	前日まで	3回以内

# 農薬の安全使用

吉良 智絵

振興センターだより

安芸農業振興センター 088713410138

農薬の安全・適正な使用と保管管理の徹底は、農産物の安全確保及び農業生産の安定のみならず、健康や生活環境の保全の観点からも重要です。

農薬を使用する場合には事故が起きないように注意されていると思いますが、依然として農薬の誤飲による事故や農薬が原因と考えられる魚類のへい死事故が毎年発生しています。また、農薬流出事故が発生すると地域の生態系に悪影響を与えたり、水道水源に対する健康リスクの増大にもつながります。

このように農業事故では、自分だけでなく家族や雇用者に危険が及んだり、生産物の出荷停止・回収によって消費者からの信用低下により産地全体にも多大な迷惑をかけることとなります。

そこで、農業事故を起さないように農薬使用時の注意点と、使用前後の取り扱い方法について今一度確認しましょう。

## 1 農薬使用前の注意点

- ・農薬を使う前に必ずラベルをよく読み、対象作物、使用濃度・量・時期・回数などの使用基準を守り、ラベルの記載内容以外には使用しない（使用回数は成分名ごとにカウントするので混合剤使用時は成分名を要確認）。
- ・防除機は、事前に十分整備・点検を行っておく。
- ・隣接ほ場、他品目や住宅地、車、洗濯物への飛散を防ぐため、生産者同士や住民と連携をとり、作業スケジュール等連絡を密に行う（散布作業の現場には、子供や関係者以外の人近づくかないよう、必要に応じて立て札を立てるなどの配慮をする）。

## 2 農薬使用時の注意点

- ・体調の優れない状態、妊娠中の人、散布作業に従事しない。
- ・散布液の調整や散布作業には、農薬を浴びないように、必ず農業用マスク、不浸透性手袋、ゴーグルや保護メガネを着用し、専用の防除衣、帽子、

長靴などを用いて露出部分を少なくする。



散布作業は暑い日中を避け、風の弱い、朝夕の涼しい時を選び、一人で長時間の連続散布作業はしない。

## 3 農薬使用後の注意点

- ・使用後の容器や防除機などはただちに洗浄する。残った散布液や洗浄液は、用水や河川などに流れ込んだり、井戸水を汚染したりする恐れがない場所を選び、土にしみこませるよう処分する。
- ・農薬の使用状況を帳簿に記載、使用した年月日、場所、農作物、農薬名、使用濃度・量などを記録しておく。
- ・散布作業後は必ず石けんで顔や手をよく洗い、うがい・洗眼をし、作業衣は速やかに着替える。

## 4 農薬の保管と管理

- ・鍵のかかる専用の場所に保管する。
- ・直射日光や火気を避けた冷暗所に保管する。
- ・絶対にペットボトル等の容器に移し替えない。

## 5 洗浄した空容器の処分方法

- ・農家等、農業空容器の排出事業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。
- ・農薬の使用済み空容器を市町村が回収・処分しているところでは、定められた方法に従う。
- ・農薬の使用済み空容器はJA高知県が年に一度回収しているので、忘れずに出しましょう（詳しくはJA高知県安芸地区営農経済部生産資材課へ）。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

# みんなのひろば

8月号米ナスのレシピ2種、早速作りました！ナス料理は色々アレンジできますね。

(奈半利支所・61歳)

▼米ナスは地元でも料理に迷われている方が多いようで、今回レシピを掲載しました。地元自慢のナス料理を、たくさん楽しんでください！

8月号「安芸地区からこんにちは」の小松さんと山本さんが楽しく民謡踊りをされているのを見て、元気が出ました。自分は、もう年だと思つて落ち込んでいたので。

(北川支所・77歳)

▼お2人ともお元気で、笑顔がとっても印象的でした。外に出て、誰かと触れ合うことが、パワーに繋がるんでしょうね。

我が家で、青ネギの病害が発生しました。このような状態になると、食べてはいけないうのでしょうか？

(吉良川支所・74歳)

▼害虫に少し食べられた程度なら問題ありませんが、病気によるとろけや腐りがあったり、斑点には菌などが入っている可能性があるため、おすすめできません。

野菜や果物の収穫体験など、子どもから大人まで楽しめるイベントがあれば参加したいです。

(穴内出張所・30歳)

▼毎年6月に開催する「なす・ピーマンとっで、食べて安芸まつり!!」は一般の方も参加できる人気イベントです。また、10月27日に北川村で開催する「慎太郎とゆずの郷まつり」では、ユズの収穫体験もできますよ。

退職後は、主人と農業をする予定なので、毎回「こうぐり」を読んでいます。レシピコーナーも大好きで、作れそうなものは挑戦しています！

(あき支所・56歳)

▼退職後の農業、楽しみですね！「こうぐり」を読んで、イメージを膨らませておいてください！

「とさのさと」で売っているシフォンケーキが美味しいので、行くたびに購入しています！

(吉良川支所・44歳)

▼おすすめ情報うれしいです！私もスイーツコーナーは、よく物色しています。シフォンケーキ、今度買ってみます！

## 広報のつぶやき

ユズ農家の方は、そろそろ収穫が忙しくなってくる頃ですね。今年は取材やイベントを通して、黄色に色づく前の、青ユズの魅力にも触れることができました。8月にはユズ生産者やJAらが、ひろめ市場前で「青ユズまつり」を開催。観光客などに、青ユズの試食販売をしました。試食のレシピはカルピスソーダに青ユズ皮を入れたジュースや、青ユズ果汁や皮を入れた塩焼きそばなど。どちらも簡単に、青ユズのフレッシュな香りが楽しめる料理でした！試食した方も、青ユズを食べるのは初めての方が多かったのですが、みなさんに大好評でした！県内で、もつともっと青ユズの消費が広がるとうれしいな。

さて次は、黄ユズの季節！今年は何んな料理で楽しもうかしら！

(竹村)

### INFORMATION

## お知らせ



### JA高知県安芸地区 あきあいあい収穫祭

**日時** 11月16日(土) 9:00～15:00

**場所** あき支所 ※雨天決行

#### 開催内容

- 農産物品評会・即売会
- もち投げ(14:30～)
- お子様向けお菓子拾い(11:00～、14:00～)
- 家の光で手芸・工作
- ドライビングシミュレーター
- ミニスライダー
- スタンプラリー
- 福引き
- 自動ブレーキ実演
- 米釣りゲームなど

#### 販売

- 農特産品
- 女性部コーナー (加工品・野菜他)
- 青壮年部コーナー (手羽先・ポテト)
- 土佐ジロー
- 花卉苗・花木
- お茶試飲・即売など

※内容は変更になることがあります。

**問い合わせ** 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515

## みのりの王国 芸西フェスタ2019

**日時** 11月17日(日) 10:00～15:00

**場所** 芸西村憩ヶ丘運動公園

**JA出店内容** 女性部コーナー、農機具の販売など

## 税務相談日

**日時** 10月16日(水) 11月20日(水)

**会場** あき支所3階

**時間** 10:00～16:00

**問い合わせ** 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515